

平成 23 年 2 月 吉日

各位

(財) 年金シニアプラン総合研究機構

平成 22 年度 年金シニアプランフォーラム
『女性の老後生活 ～急増する生涯独身女性を切り口として～』
開催のご案内

おかげさまで 91 名の参加をいただき、終了いたしました

謹啓 余寒の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて近年、人々の生き方や家族形態、世帯の多様化が進行し、その中で単身世帯の増加にスポットライトが当てられる機会が増えています。特に女性については、平均余命が長い一方で、最近社会進出の状況が変化してきたとはいえ、所得水準は概して低く、これからの超高齢化社会の中で生活上の問題に直面する人が増えることが考えられます。

財団法人年金シニアプラン総合研究機構では、このような社会構造の変化が与える影響を、これまで取り上げられることが少なかった独身女性を主たる対象に、平成 12 年度から 5 年毎に調査してまいりました。今般、第 3 回調査（平成 22 年度）の結果を踏まえて、下記の通り「女性の老後生活～急増する生涯独身女性を切り口として～」を開催することと致しました。本フォーラムでは、女性の老後生活に焦点を当て、現在の生活状況を踏まえた上で、将来に向けた様々な課題や対応のあり方などについて考えてみたいと思います。これらに関する諸課題に広くご関心をお持ちの方に、当フォーラムがお役に立てば幸いに存じます。

謹白

記

1. 概要

- ・日 時:平成 23 年 3 月 10 日(木) 13:30～16:40 (受付開始 13:00)
- ・会 場:大手町サンケイプラザ 3階
東京都千代田区大手町 1-7-2 TEL 03-3273-2257、2258、2259

*** プログラム**

基調講演 1 「女性のこれからの生き方」 【予定時間 13:35～14:05】
今井 通子 (医学博士・登山家、年金シニアプラン総合研究機構 理事)

基調講演 2 「人口減少・超高齢化と高齢女性人口」 【予定時間 14:05～14:35】
高橋 重郷 (国立社会保障・人口問題研究所 副所長)

調査報告 「独身女性の老後生活設計ニーズ調査 (2010 年度調査結果報告)」
四方 理人 (年金シニアプラン総合研究機構 研究員) 【予定時間 14:35～14:55】

パネルディスカッション 【予定時間 15:15～16:40】
(パネリスト)
今井 通子 (医学博士・登山家、年金シニアプラン総合研究機構 理事)
高橋 重郷 (国立社会保障・人口問題研究所 副所長)

直井 道子 (桜美林大学大学院 老年学研究科 教授)
藤森 克彦 (みずほ情報総研株式会社 社会保障 藤森クラスター主席研究員)
棕野 美智子 (大分大学 福祉科学研究センター 教授)

(モデレーター)

千保 喜久夫 (年金シニアプラン総合研究機構 研究主幹、東京成徳大学 経営学部 教授)

2. 申込要領

別紙「参加申込書」にご記入の上、**2月28日(月)までに**、FAX(03-5793-9414)にご送付ください。
なお、ご応募多数の場合には、先着順(賛助会員を優先)で締め切らせていただきます。

<会場案内図>



<交通案内>

- 地下鉄大手町駅 A4・E1 出口直結
(丸の内線、半蔵門線、千代田線、東西線、都営三田線)
- JR 東京駅 丸の内北口より徒歩 7分

以上